



フューチャー イノベーション フォーラム

# 2010年度 活動報告





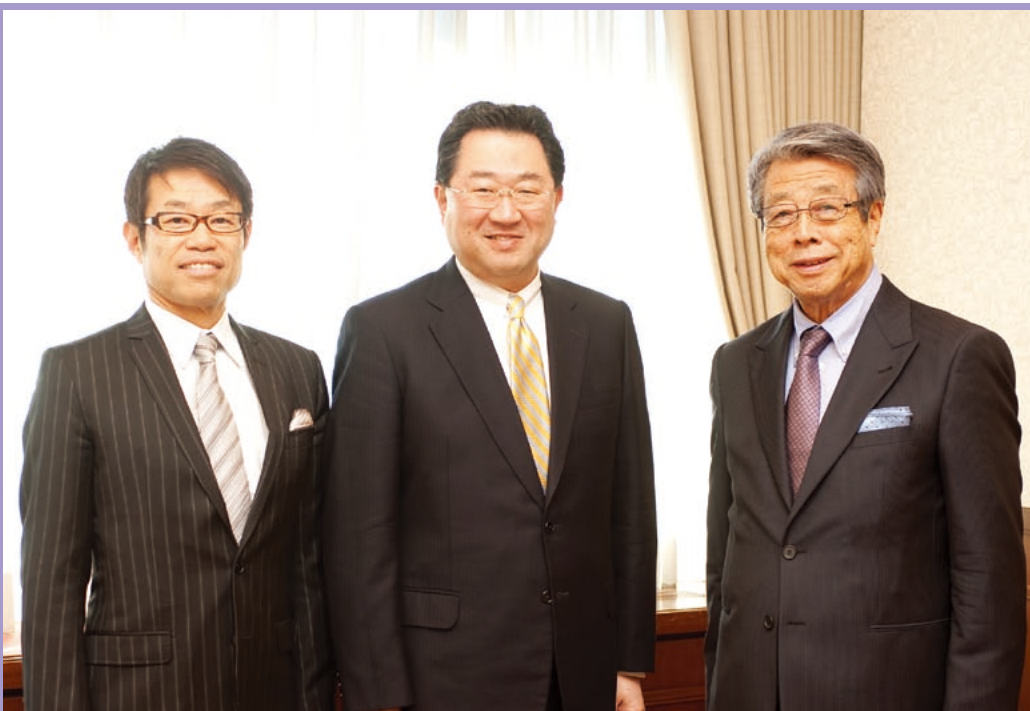
### **本活動報告の表紙について**

フューチャー イノベーション フォーラムは  
2010年度も様々なプログラムに取り組みました。  
表紙を飾っているのは、この1年間の活動に  
参加してくれた子どもたちの、たくさんの笑顔です。

# Contents

● FIF 特別鼎談	02
● FIF について	04
● 2010 年度の活動報告	
● アドバイザリーボードミーティング	08
● 運営委員会	08
● 会員様向け企画	
● アドバイザリーボードインタビュー 「Future Wind」	09
● イノベーションワークショップ 2009-2010	10
● イノベーションワークショップ 2009-2010 総括セミナー	13
● FIF 2010 総会	14
● キッズ&ユース企画	
● 社会の最前線	16
● 物流の最前線	17
● エネルギーの最前線	18
● ソフトドリンクの最前線	19
● ITらぼ	22
● 出張授業「プログラミング教室」	23
● 出張授業「デジタルってなんだろう？」	24
● フューチャー☆キッズデー	26
● イベントポスター集	28

## FIF 特別鼎談



### フューチャー イノベーション フォーラム アドバイザリーボード 特別鼎談

ウシオ電機株式会社 会長  
FIF 代表

フューチャーアーキテクト株式会社  
会長兼社長、FIF 代表

聖マリアンナ医科大学 理事長

## 牛尾 治朗 × 金丸 恭文 × 明石 勝也

### ■ 過渡期にある日本 ■

**金丸** 日本が長期低迷から脱却できないなか、2010年度の中国の国内総生産（GDP）が、日本を抜いて世界第二位になりました。これをどのように見ますか？

**牛尾** “歴史的な出来事”と騒いでいますが、大したことはありません。総数で見てもしかたがない。それよりもいまの日本は悲惨だと嘆いていることに疑問を感じます。

**金丸** それはどうしてですか？

**牛尾** たとえば大学生の就職難。3人に1人が就職できないと問題になっていますが、これは当然の結果です。というのも日本は生産レベルが非常に高く、供給の増加に国内需要がまったく追いついていません。したがって市場を国外に求めざるを得ないのですが、円高がそれに歯止めをかけています。もはや国内では雇用を賄い切れない。日本人は海外で働くことが運命づけられているのです。

**明石** ですが、いまの若者は海外に行きたがらない傾向にあると聞きます。現地に行かなくてもインターネットで何

でも調べられる環境が影響しているのかもしれませんが、実際に自分の目で見て、手でふれて、においや音を五感で感じるという体験は非常に大切だと思います。

**牛尾** 海外で競争できる人材が育っていないことも問題です。お隣の韓国は、海外で勝負しなければ経済成長はないことにいち早く気づき、97年のアジア通貨危機を機に、業種ごとに企業数を1、2社に絞り込んで、国際競争力を高めました。教育においては小学校の授業に英語を取り入れ、グローバル市場で通用する人材を育成しています。

**金丸** これは留学生の数を見ても明らかです。09年度に米国の大学へ留学した日本人は2万5千人ですが、対して韓国人は約7万人。韓国の総人口は日本の3分の1に満たないにもかかわらず、遥かに多い学生が海を渡っています。マーケットも就労も国外に求めているのです。

**牛尾** 日本はいま変化の過渡期にあります。古い価値観で見れば悲劇に思えるかもしれませんが、別の見方をすれば新たな可能性が拓けてきます。まず若い人たちにはもっと海外に目を向けてほしいですね。

## ■ 新たなしくみへの転換 ■

**明石** 医療もまさに過渡期といえます。日本は長年「最低のコストで最高の医療を提供する」と世界中から不思議がられてきました。それは脈々と続く“赤ひげ精神”によって支えられてきたのですが、いまの時代、赤ひげを知らない若い世代に同じことを求めるのは難しくなっています。だからといって医師の献身的な頑張りの上に成り立っている現状が果たしてよいのか、疑問にも感じます。新たなよりどころ、新たなしくみが求められているように思います。

**金丸** 医療分野にももっと経営視点を入れて、需要を重視した構造に変えるべきだと考えます。経済合理性という“弱者切り捨て”のイメージが先行してしまい、アレルギーを持つ人も多いですが、医師の就労時間の平均が月400時間という現状をこのまま見過ごすわけにはいきません。

**牛尾** 医療に限らず、どの分野においても経営の視点が不在です。最たるものが国の財政でしょう。税収が足りないからと国債をどんどん発行し、多額の借金を子どもの世代に回している。この先、新興国を相手にしたさらに過酷な競争が待っているのだから、せめて借金だけはゼロにしてあげないとはいけません。

**金丸** 過渡期を乗り越えるには、未来に向けた新しい制度、しくみ、そして価値観を早くつくらなければなりません。

**牛尾** いまこそ国民の叡智が問われているのです。

## ■ 「アジア・スペック」の創設を ■

**金丸** では、いったい何をすればよいのでしょうか？

**牛尾** “歴史に学ぶ”という言葉があります。日本は300年の資本主義の歴史を誇る欧州にいろいろと学ぶべきです。たとえばEUの前身であるEEC（欧州経済共同体）は、米国に対抗できる経済圏を目指してフランスや西ドイツなどが

手を結びましたが、その加盟条件として「財政赤字はGDPの3%以内」「債務残高はGDPの60%以内」としました。日本が財政を立て直し健全な国になるには、この数値を目標にすることが先決でしょう。そして欧州にならない、タイやフィリピンなどのASEAN諸国に呼びかけて、アジアでの共同化を進めるべきです。

**金丸** そのためには制度や規格を統一する必要があります。日本でもフィリピンとインドネシアから受け入れた外国人看護師が日本の看護師国家試験を受験できるようになりましたが、試験に出てくる日本語が難しすぎて不合格になってしまった人が多いようです。本国での資格を持っていて技術は充分あるのだから、早急に改めるべきではないでしょうか。これでは形だけの門戸開放といわれかねません。

**牛尾** それこそ共通の基準となる「アジア・スペック」をつくって、どんどん標準化していくとよい。それをリードするのが日本の役目です。そして費用にはODA（政府開発援助）を充てる。これが活きた使い方でしょう。経済から始めるとハードルが高いため、医療、介護、保育といった分野から進めるとうまくいくのではないのでしょうか。

**明石** 医療は日本がリードしやすい分野だと思います。優れた医療者を育てるという理念も受け入れられやすい。たとえばアジア各国に大学病院の分校を積極的につくってあげれば、人材育成に貢献できるだけでなく、日本の進んだ医療が受けられると現地の人たちにも喜ばれます。

**牛尾** 今後日本が生き残るには、アジア諸国と手を結ぶことが不可欠です。アジア初の先進国として日本がイニシアティブを取り、「アジア・スペック」の創設と広域化に貢献していくことを期待します。その積み重ねによって、アジアひいては世界において、成熟した国家としての日本の存在感が増していくのではないのでしょうか。

(2011年1月実施、文中敬称略)

文責：Future Innovation Forum



**明石 勝也** (あかし かつや)

聖マリアンナ医科大学卒。1989年米ジョンズホプキンス大学留学。2005年より現職。専門は心臓病、救命救急。日本救急医学会評議員。



**牛尾 治朗** (うしお じろう)

東京大学法学部卒。1964年ウシオ電機設立。経済同友会代表幹事、経済財政諮問会議議員などを歴任。日本生産性本部会長。



**金丸 恭文** (かままる やすふみ)

神戸大学工学部卒。1989年フューチャーシステムコンサルティング設立（現フューチャーアーキテクト）。前経済同友会副代表幹事。

# FIFについて

フューチャー イノベーション フォーラム（略称：FIF）は「ITイノベーションを人と社会と企業のために」というキーコンセプトのもと、2006年1月の設立以来、次世代を担う若手リーダーへの発信や会員様向けのワークショップ、セミナーをはじめ、子どもたちの「学ぶ」「楽しむ」「ワクワク感」を大切にしながらプログラムの企画・運営など様々な活動に取り組んでいます。

## キーコンセプト

### ITイノベーションを人と社会と企業のために

- 業種を越えたベストプラクティス・ITの改革力の研究と共有
  - ITのさらなる進化の方向の探求
  - 次世代経営システムの研究
  - 産学連携の促進
- 個人力のUP、自律的コミュニティへの支援
  - 子どもたちの潜在力の発掘・開花
  - 高齢者や中高生・大学生のITリテラシー教育（他団体、学校との連携）
  - 地域、コミュニティ、家庭でのIT活用研究
- 効率的で質の高い教育サービスの研究
  - 大学をはじめとする教育機関へのIT教育支援、相互交流

## 活動内容

FIFの活動は大きく「会員様向け企画」と「キッズ&ユース企画」から成ります。会員様向け企画は「ITによるイノベーションの可能性を探る」を基本テーマに、年次総会やワークショップなどを実施しています。キッズ&ユース企画は「イノベーションの未来を担う子どもたちの夢・可能性を広げよう」というコンセプトのもと、ものづくりやグループワークを重視した体験型プログラムを行っています。

### 会員様向け企画

#### ITによるイノベーションの可能性を探る

##### Future Wind

アドバイザーボードの皆様の意見を会員様に向けて発信することにより、コミュニケーション促進を図る

##### ワークショップ、セミナー

ITと経営にかかわるシリーズテーマのもと、有識者や参加者の専門領域や経験に基づく幅広い視点からの情報共有、意見交換を行い、相互の交流を図る

##### 総会

- FIFの年間活動を会員の皆様に報告する
- 「イノベーション」をテーマとした情報発信と共有を行い、会員様同士の交流・懇親を図る

### キッズ&ユース企画

#### イノベーションの未来を担う 子どもたちの夢・可能性を広げよう

##### 社会の最前線

働くカッコいい大人とのふれあいをとおして、働くことの楽しさややりがいを体感し、未来の社会を支えるカッコいい大人になろう！

##### ITらぼ

ITのしくみを知り、仲間とともに自分の手でつくりあげる体験をとおして、ITのおもしろさや可能性を体感し、イノベーションを生み出す大人になろう！

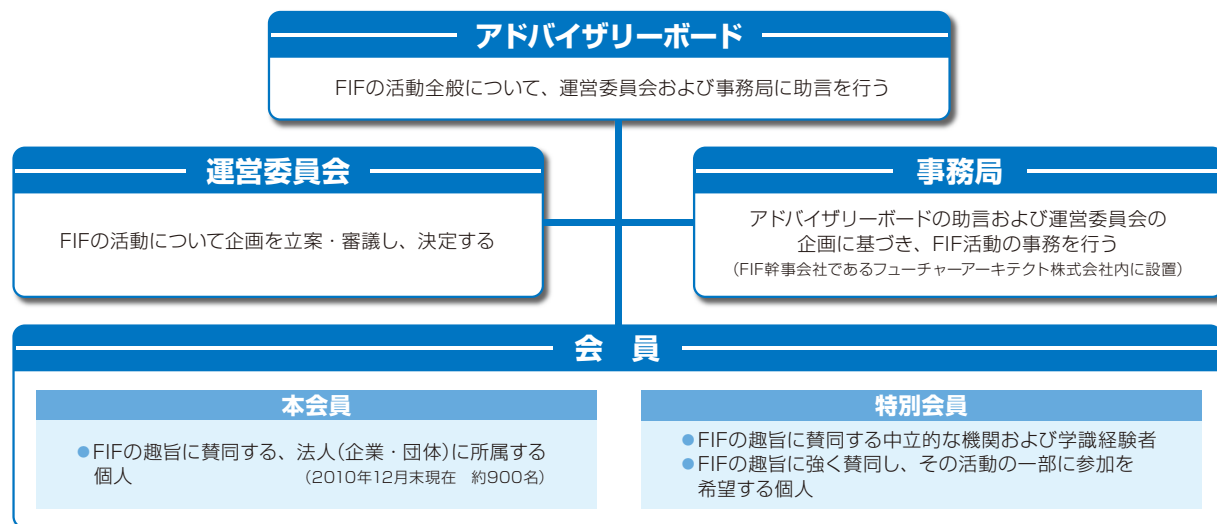
New

##### KIDS調査隊

自分が暮らしているマチへの理解、地域コミュニティとのふれあいを深めて、地域社会の未来を担うステキな大人になろう！

## 組織図

FIFの組織は「会員」「アドバイザリーボード」「運営委員会」「事務局」で構成されます。  
現在約900名の会員の皆様に活動へご参加・ご支援いただいています。



## アドバイザリーボードメンバー

<b>明石 勝也</b>	聖マリアンナ医科大学 理事長	<b>藤沢 久美</b>	シンクタンク・ソフィアバンク 副代表
<b>伊藤 元重</b>	東京大学大学院 経済学研究科 教授	<b>増田 宗昭</b>	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 代表取締役社長 兼 CEO
<b>牛尾 治朗</b>	ウシオ電機株式会社 代表取締役会長	<b>三木谷浩史</b>	楽天株式会社 代表取締役会長 兼 社長
<b>金丸 恭文</b>	フューチャーアーキテクト株式会社 代表取締役CEO	<b>渡 文明</b>	JXホールディングス株式会社 相談役 (2010年12月末現在 氏名50音順敬称略)
<b>川本 裕子</b>	早稲田大学大学院 ファイナンス研究科 教授		
<b>栗和田榮一</b>	佐川急便株式会社 会長		
<b>小島 順彦</b>	三菱商事株式会社 取締役会長		
<b>榊原 清則</b>	慶應義塾大学 総合政策学部 教授		
<b>白井 克彦</b>	早稲田大学 理工学術院 教授 (前総長)		
<b>鈴木 茂晴</b>	株式会社大和証券グループ本社 代表執行役社長 CEO		
<b>張 富士夫</b>	トヨタ自動車株式会社 代表取締役会長		
<b>中西 勝則</b>	株式会社静岡銀行 代表取締役頭取		
<b>新浪 剛史</b>	株式会社ローソン 代表取締役社長 CEO		



アドバイザリーボードミーティングにて (2010年5月)

## 運営委員

<b>井岡 康治</b>	佐川急便株式会社 執行役員 営業戦略部 部長	<b>安楽岡 武</b>	株式会社ローソン 経営戦略ステーション 戦略企画部長
<b>小田 聰樹</b>	ウシオ電機株式会社 社長室 秘書課 マネージャー	<b>櫻田 浩</b>	フューチャーアーキテクト株式会社 執行役員 エンタープライズビジネス営業本部長、FIF運営委員会委員長
<b>澤 昭裕</b>	日本経済団体連合会 21世紀政策研究所 研究主幹	<b>稲垣 哲也</b>	フューチャーアーキテクト株式会社 ストラテジー&事業開発室 エグゼクティブマネージャー、FIF2010年度実行委員長
<b>西村 伸吾</b>	JX日鉱日石エネルギー株式会社 広報部 副部長	<b>岡安夏世子</b>	フューチャーアーキテクト株式会社 CSR推進室 チーフ、FIF事務局長 (2010年12月末現在 敬称略)
<b>前川 徹</b>	サイバー大学 IT総合学部 教授		

## 2010年度の活動方針

### かかわる人びとが一体になって創りあげるFIFへ

- 子どもたちとふれあう感動と可能性の発見・おどろきをより多くの人と共有する
- 参加者の皆様が交流を越えた新たな価値を見出せる場にしていく
- 次世代を担うリーダーとともに、日本の未来を考える

## 2010年度の活動実績

2010年度は「かかわる人びとが一体になって創りあげるFIFへ」という活動方針のもと、会員の皆様がより参加しやすい活動にするため、とくに会員様向け企画の拡充に取り組みました。ワークショップ新シリーズでは各企業から若手・中堅社員を募って次世代リーダーの集う場を構築し、グループワークを通じて意見交換や交流を図ったほか、秋には年次総会にあたる「FIF総会」を開催し、多く新規会員の皆様にもご参加いただきました。一方、キッズ&ユース企画は教育現場のニーズに応えるべく、ITらぼの新プログラムを企画・実施するとともに、既存プログラムの内容・運営方法の見直しを図り、参加者の満足度アップに努めました。

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
<b>全体</b>		1/27 第8回 運営委員会			★ 2009年度 活動報告書 発行	★ 5/13 第5回 アドバイザー ミーティング		★ 7/12 第9回 運営委員会					★ 12/13 第10回 運営委員会
<b>会員様向け企画</b>	Future Wind				★ 第4号 発行		★ 第5号 発行					★ 第6号 発行	
	ワーク ショップ		★ 2/9 第3回 (09-10シリーズ)	★ 3/2 第4回		★ 5/25 総括セミナー							
	総会											★ 11/24 FIF2010総会	
<b>キッズ&amp;ユース企画</b>	社会の 最前線			★ 3/30 第4回 物流の最前線				★ 8/5 第4回エネルギー の最前線	★ 8/20 ソフトドリンクの 最前線				
	出張 授業	★ 1/15 プログラミング 教室								★ 9/28 デジタルって なんだろう?			
	ITらぼ 出展							★ 7/29 フューチャー ☆キッズデー					

★ 新規企画    ★ 初実施



# 2010年度の活動報告

## ● アドバイザリーボードミーティング

## ● 運営委員会

## ● 会員様向け企画

● アドバイザリーボードインタビュー「Future Wind」

● イノベーションワークショップ 2009-2010

● イノベーションワークショップ 2009-2010 総括セミナー

● FIF 2010 総会

## ● キッズ&ユース企画

● 社会の最前線

● 物流の最前線

● エネルギーの最前線

● ソフトドリンクの最前線

● ITらぼ

● 出張授業「プログラミング教室」

● 出張授業「デジタルってなんだろう？」

● フューチャー☆キッズデー

# アドバイザーボードミーティング&運営委員会

FIFはアドバイザーボードならびに運営委員の皆様から提案や助言をいただきながら活動を行っています。アドバイザーボードミーティングは年1回開催され、FIFの活動全般に対するご意見やアドバイスをいただいています。また運営委員会は定期的に開催され、FIFの活動について企画を立案・審議し、決定しています。

## アドバイザーボードミーティング

- **日時** 2010年5月13日(木) 11:00～13:30
- **会場** ホテルオークラ東京(東京都港区)
- **出席者** 16名
- **式次第**
  1. 開会 FIF代表・当ミーティング議長  
金丸 恭文(フューチャーアーキテクト株式会社 CEO)
  2. これまでの活動実績の振り返り
  3. 代表挨拶 FIF代表 牛尾 治朗(ウシオ電機株式会社 会長)
  4. 新運営委員のご報告
  5. 2010年度の活動について
  6. 意見交換



- **メンバーからの感想・助言・要望**
  - ワークショップは回を追うごとに盛り上がり、参加者から「大変有意義だった」「他業種の方と交流できてよかった」と好評だった。
  - キッズ企画は年々内容が濃くなっている。教える側の楽しそうな表情が印象的だ。最近の学生は夢を持っている人が非常に少ない。社会の最前線のような体験をとおして、子どもの頃から現場を見て感じてもらえば、将来の夢を抱けるのではないだろうか。
  - 設立以来、優れた企画を実施し、社会に大きく貢献していると思う。次の5年に向けてもう1つの柱となるプログラムを考えてほしい。



## 運営委員会

- **日時** 2010年1月27日(水)、7月12日(月)、12月13日(月)の計3回開催
- **会場** 東京都内
- **内容**
  1. 新委員、新実行委員長の紹介
  2. 2010年度の活動内容について検討
  3. 各プログラムの開催報告
  4. その他、諸連絡ならびに意見交換

- **委員からの感想・助言・要望**
  - 子どもたちの笑顔が輝いている。この中から将来、優れた技術者が生まれることを期待する。
  - イベント体験が参加者のその後の生活や進路にどのように影響したのか、追跡調査をしてほしい。
  - 有意義な活動なので、テレビやウェブサイトなどを通じてもっと広くアピールしていくべきだ。そのほうが企業や学校の協力も得やすく、何よりスタッフのやる気アップにつながる。



会員様向け企画

アドバイザーボードインタビュー「Future Wind」

アドバイザーボードの皆様へのインタビューを掲載した「Future Wind」は2009年の創刊以来、ボードメンバーの皆様これまでの経験から導き出された貴重なお話が伺えるとして、会員の皆様にご好評いただいています。2010年度に発行した各号のメッセージをご紹介します。(役職は発行当時)

テーマ「今の時代だからこそ求められるリーダー像」

第4号 三菱商事株式会社 社長 小島 順彦 様

- リーダーは、お客様や取引先との「横」のコミュニケーションと、世代を超えた「縦」のコミュニケーションを常に心がけるべきである。
- 信頼関係を築くには、相手の立場で物事を考えることが不可欠だ。
- 常に経営を意識し、現状に対する疑問をもち続けなければならない。
- 時代の変化を読み、自分がイノベーションを起こして会社を変えていくという気持ちで未知の領域に飛び込むことができるかどうか、リーダーの素質だ。



2010年4月発行

第5号 学校法人早稲田大学 総長 白井 克彦 様

- リーダーは「〇〇が好きだ。〇〇をもっと良くしたい」という情熱と将来の明確なビジョンをもたなければならない。この2つがなければ、人を動かし、周りを巻き込みこんでいくことはできない。
- 組織を一つにまとめるには、みんなの意識を同じレベルまで高めることが必要。
- 未来は過去の連続ではない。変化を嫌うのではなく、次々に起こる変化を楽しみながら、理想に向かって努力し続けることが大切だ。



2010年6月発行

第6号 株式会社静岡銀行 頭取 中西 勝則 様

- リーダーは大きな義務、責任、そして権力を有する。それだけに自分を律することができなければ務まらない。
- 大切なのは「利他の心」。相手の成長を一生懸命考えなければ、自身の仕事は成り立たない。
- 世の中は常に変化している。時代に立ち向かう挑戦者として自ら主流を創り出そうとする気概をもつことが重要だ。自分の可能性を信じて突き進んでほしい。



2010年11月発行

バックナンバーは以下のとおり。

- ◆ 創刊号 フューチャーアーキテクト株式会社 CEO / FIF 代表 **金丸 恭文**
- ◆ 第2号 新日本石油株式会社 会長 **渡 文明 様**
- ◆ 第3号 株式会社大和証券グループ本社 社長 CEO **鈴木 茂晴 様**  
(社名、役職は発行当時)

## 会員様向け企画

# イノベーションワークショップ 2009-2010

FIFは「ITによるイノベーション」を基本テーマに、初年度からワークショップを開催しています。2009年秋から2010年春にかけて行ったシリーズでは、各企業が展開するプラットフォーム戦略に着目し、新たなビジネスモデルやイノベーションへの理解を深めました。また次世代リーダーの集う場とすべく、30～40代の中堅・若手社員に参加いただき、意見交換やグループディスカッションをとおして交流を図りました。全4回開催。

## シリーズテーマ「ITと新たなビジネスモデル」

### ● コーディネーター

サイバー大学 IT総合学部 教授 前川 徹 様

### ● コメンテーター

早稲田大学 ビジネススクール 教授 根来 龍之 様

### ● 会 場

フューチャーアーキテクト株式会社内会議室 (東京都品川区)



根来 龍之 様

### ● 参加企業リスト (社名50音順)

アサヒビール株式会社  
株式会社伊予銀行  
ウシオ電機株式会社  
株式会社エービーシー・マート  
カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社  
キッコーマンビジネスサービス株式会社  
株式会社クレディセゾン  
佐川急便株式会社  
株式会社ザクラ  
株式会社静岡銀行  
新日本石油株式会社 (現・JX日鉱日石エネルギー株式会社)  
ソフトバンクテレコム株式会社  
株式会社大和総研  
武田薬品工業株式会社

株式会社千葉銀行  
株式会社ティーガイア  
株式会社テレビ東京  
TOTOインフォーム株式会社  
株式会社ニチレイフーズ  
株式会社ニトリ  
株式会社博報堂ネットブリズム  
フューチャーアーキテクト株式会社  
三菱商事株式会社  
株式会社ヤクルト本社  
楽天株式会社  
株式会社リクルート  
株式会社菱食  
株式会社ローソン

### ● 開催実績 [日時、テーマ、スピーカー]

#### ◆ 第1回 2009年10月26日

「プラットフォーム戦略と新たな経営について」  
慶應義塾大学 政策メディア研究科 特別招聘教授

夏野 剛 様

#### ◆ 第2回 2009年12月3日

「プラットフォームビジネスとアマソンの戦略」  
アマゾンジャパン株式会社 渉外本部 本部長

渡辺 弘美 様

#### ◆ 第3回 2010年2月9日

「パーク24 スペース提供ビジネスからの進化」  
パーク24 株式会社 社長

西川 光一 様

#### ◆ 第4回 2010年3月2日

参加者による自社事例の発表



夏野 剛 様



渡辺 弘美 様

※ 第1回、第2回の詳細は2009年度活動報告に掲載。

## 第3回

- 日 時 2010年2月9日(火) 18:00 ~ 21:00
- テーマ 「パーク24 スペース提供ビジネスからの進化」
- スピーカー パーク24 株式会社 社長 西川 光一様
- 参加者 20名



西川 光一様

### ● グループディスカッションの概要

- 放送業界にはコンテンツを流すプラットフォームがあり、良いコンテンツが増えれば視聴者が増える。広告枠は一定の時間しかないため、視聴者が喜ぶ番組に対して広告主が増えれば広告料金が上がる、という良い方向へ回っていく。ただ、このモデルも視聴者から見れば無料のモデル。テレビだけに限らないメディアミックスもあり、逆に視聴者がお金を払う「ペイテレビ」なども出てきている。視聴者の確保が課題だろう。
- スマートフォンがプラットフォームとしてベースにあり、その上に利用者、アプリ開発者、キャリアがいる。基本的にこの三者には相乗効果があり、それぞれプラスに働くが、一方でキャリアが増えると競争になりマイナス面も出てくる。やはりアプリの開発が最優先。ここに魅力がないと利用者も増えないし、いい相乗効果も見込めない。
- 鉄道をプラットフォームとして考えた場合、鉄道以外の不動産、商店、リゾート施設など会社を兼ねることがある。利用者が増えれば互いに利便性・売上がプラスになる。気をつけるべきは利用者の増加によって、鉄道自体の混雑や社会インフラなどがついていけないなどのマイナス要因もあることではないか。

### ● 参加者の声 (アンケートより)

- パーク24様のビジネスモデルの素晴らしさに感銘を受けました。
- 西川社長のお話はとても興味深いものでした。前川先生、根来先生のコメントは的を射たもので、示唆に富むワークショップだと思います。
- 「バリューチェーン↔プラットフォーム」。この視点でいろいろと見直すことで面白い発見がありそうです。
- サービス業への転換やプラットフォームビジネスへの進出と、大変興味深く聞かせていただきました。
- グループワークはとても有意義でした。



## プラットフォーム戦略の重要性

イノベーションワークショップ 2009-2010  
コーディネーター 前川 徹

今回のワークショップで取り上げた「プラットフォーム戦略」は、さまざまなビジネスに適用できる。世の中の多くの製品やサービスは、単体で価値を生み出しているものは少なく、それを補完する財やサービスがある場合、一種のプラットフォーム・ビジネスと考えることができるからである。

プラットフォーム・ビジネスの場合、その補完財・サービスの提供者とプラットフォームの最終的な利用者との間にプラスのネットワーク効果が生まれる。たとえば、第3回のワークショップで取り上げたパーク24株式会社の「タイムズ」の場合、駐車場がプラットフォームであり、補完財が「駐車場周辺の店舗などの施設」である。駐車場の利用者が増えると周辺施設の利用度も上がるし、周辺施設が充実していくと駐車場の利用者も増える。同じ関係はネットオークション（出品者と入札者）や、ゲーム専用機（ゲームソフトベンダーとゲームの利用者）にも当てはまる。

こうしたビジネスでは、このサイドをまたがるネットワーク効果のコントロールが重要になる。両方からお金を取ることもできるが、どちらか一方を支援し、もう一方からお金を取ることも可能である。さらに、利用者がプラットフォームを乗り換えるコスト、あるいは複数のプラットフォームを利用するコストによっても、取るべき戦略は異なってくる。

今回のワークショップを通し、こうした理論の勉強は、既存ビジネスの戦略見直しや、新規ビジネスの立案にも役立つことを実感した。



## 第4回

◎ 日 時 2010年3月2日(火) 18:00～20:30

◎ 参加者 20名

### ◎ 参加者による自社事例発表〔テーマ、スピーカー〕

#### 1. リクルートのビジネスとプラットフォーム視点

株式会社リクルート MIT United マーケティングプラットフォーム推進室  
エグゼクティブマネジャー ITアーキテクト 菊池 保人 様

#### 2. デジタル情報革命とプラットフォーム戦略

ソフトバンクテレコム株式会社 法人第二営業本部 第二営業統括部  
第一営業部 部長 相田 伸彦 様

### ◎ グループディスカッションの概要

- スマートフォンはキャリア、利用者、アプリ開発者に何をもたらすか。キャリアはデータ通信量の増加に伴って課金が増え、収益拡大につながる。利用者は利便性やポータビリティが向上する。他方、アプリ開発側はあらゆるものに対応しなければならないため、収益は上がらないのではないだろうか。その点、Googleの「Android」はキャリアを選ばず、ソフトウェア開発がかなり有利だ。おもしろいアプリが出てくればユーザーが流れることが考えられ、プラットフォームに大きな変動が起きる可能性もある。ネットワークの外部性がAndroidによって広がるのか、そのままiPhoneの独走か、今後の動向を見ていきたい。
- ネットでは検索ワードと広告を連動させたサービスが提供されている。ヤフーの「オーバーチュア」やGoogleの「アドワーズ」があげられるが、世界中で類似サービスが乱立し、不良在庫がたまっていることが問題となった。このため米国では「Ad Exchange」という場が誕生し、再入札して欲しいときだけ取るという動きが進んだ。しかし、Ad Exchangeがディスプレイ広告枠価格を劇的に下げる方向に向かっているため、広告枠ではなくAudienceに対して広告を打つという新しい形のプラットフォームが生まれてきている。DSP（デマンド・サイド・プラットフォーム）と呼ばれるものだが、今後ますます注目されそうだ。

### ◎ 参加者の声（アンケートより）

- 知らない業界の話も聞けて、非常に参考になりました。
- テーマが「プラットフォームビジネス」という自分にはあまり縁のないものだったが、そのことが逆に面白かった（少し難しかったが）。
- 大変勉強になりました。また今後の動機付けにもなりました。
- 全4回出席させていただきましたが、プラットフォームビジネスという同一のテーマで異なるビジネスを分析し、異なる業界の方とディスカッションができて大変勉強になりました。次シリーズもまた参加させていただきたいと思います。



菊池 保人 様



相田 伸彦 様



**初実施**

会員様向け企画

**イノベーションワークショップ 2009-2010 総括セミナー**

ワークショップの総まとめとして「総括セミナー」を開催しました。第一部では次世代リーダーへのメッセージをいただき、第二部では新たなビジネスメカニズムで成功を収めているアマゾンジャパン様と楽天オークション様をパネリストに迎え、産業構造を変革させた原動力や既存産業への影響などを議論しました。

- **日 時** 2010年5月25日(火) 16:00～19:00
- **会 場** マンダリンオリエンタル東京 (東京都中央区)
- **参 加 者** 約100名 (ワークショップ参加者・推薦者、FIF会員など)

● **プログラム**

**第一部 特別講演** アサヒビール株式会社 相談役 (前会長兼CEO) 池田 弘一 様

**第二部 パネルディスカッション**

テ ー マ: **「新たなビジネスメカニズムとプラットフォーム」**

コーディネーター: サイバー大学 IT総合学部 教授

前川 徹 様

パネリスト: 早稲田大学 ビジネススクール 教授

根来 龍之 様

アマゾンジャパン株式会社 渉外本部 本部長

渡辺 弘美 様

楽天オークション株式会社 社長

舟木 徹 様

● **パネルディスカッション**

**成功の法則とは？**

舟木: スタートから3期で黒字転換した。最大の要因は取引が多くなったことだが、取引の仲介にしっかり入って問題の解決にあたること、単なる引き合わせではないことがコアコンピタンスである。

渡辺: ビジョンはいたってシンプルである。地球上で最もお客様を大事にすることと最も品揃えを増やすことだ。品揃えが増えればお客様の満足度が上がりまた来ていただける。そうすれば売り手が増え、品揃えがさらに増えるというサイクルにつながる。さらに品物の価格が下がれば、サイクルが加速化する。このような良い循環をつくっていくことが大切だ。

根来: オークションは先発のヤフオクが大きいシェアを持つが、この種のビジネスは最初に強いとますます強くなる (WTA = Winner Takes All) 傾向が強い。リーダー企業はWTAの追求が戦略目標であり、チャレンジャー企業にとってはWTAメカニズムにどう対抗するかが重要だ。攻め手の一つに「マルチホームिंग」がある。伝統的経営学ではライバルの顧客を攻めて自分のお客様になってもらう「スイッチ狙い」が主流だったが、利用者は簡単にはスイッチしない。マルチホームिंगとは両方使ってもらおうとすることであり、ネットビジネスの場合、チャレンジャーのキー概念となる。



池田 弘一 様



## 会員様向け企画 FIF 2010 総会

フォーラムの年次総会にあたる「FIF 総会」は、FIFの年間の活動報告と“イノベーション”をテーマにした情報発信・共有をととして、会員様同士の交流や懇親を図るFIF最大のイベントです。今年度は2010年秋に開催し、パネルディスカッションでは日本と中国の経済関係に着目しました。

- 日 時 2010年11月24日(水) 15:30～17:20
- 会 場 グランドハイアット東京(東京都港区)
- 参 加 者 FIF会員を中心に約200名

### ● プログラム

開会宣言と代表挨拶 FIF代表(フューチャーアーキテクト株式会社 CEO) 金丸 恭文

第一部 FIF活動報告 FIF2010年度実行委員長 稲垣 哲也  
(フューチャーアーキテクト株式会社 ストラテジー&事業開発室 エグゼクティブマネジャー)

### 第二部 パネルディスカッション

テ ー マ: 「日中経済関係の近未来を探る」

モデレータ: キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹

瀬口 清之 様

パネリスト: 株式会社みずほコーポレート銀行 顧問

菅野真一郎 様

伊藤忠商事株式会社 専務執行役員 関西担当役員

桑山 信雄 様

株式会社小松製作所 副社長

駒村 義範 様



FIF 代表 金丸 恭文



瀬口 清之 様





◎ パネルディスカッション

中国でのビジネス成功の秘訣とは？



菅野 真一郎 様

- 中国で成功を収めるには、結果が出るまでの苦しい時期を支える会社の資力と経営者の胆力が必要だ。
- 日本の企業文化を理解したロイヤリティの高い中国社員の育成が必須。ヘッドハンティングでは確保できないため、地道に育成し、相応のポジションを与えることも重要だ。
- 日本は巨大な中国市場に対して、地勢学的に優位なポジションにいることを自覚し、積極的にビジネスを展開すべきだ。



桑山 信雄 様

- 中国政府は、今後沿岸部のみならず内陸部の経済成長にも力を注ぐ方針であり、中国市場はより一層大きな成長を遂げるだろう。日本企業はこれまでのように中国を単なる生産拠点として見るのではなく、魅力的なマーケットとして積極的にビジネスを仕掛けていくべきだ。
- 与信、人材、政府介入など中国ビジネスにおいてネガティブに捉えられがちナリスクは、すべて工夫次第で克服可能である。



駒村 義範 様

- 中国には様々なリスクがあるかもしれないが、市場として大きな魅力がある。中国ビジネスをやることで生じるリスクよりも、やらないリスクのほうがはるかに大きい。
- 中国ビジネスで成功を収めるには時間がかかる。コマツは54年前に進出したが、利益が出るようになったのはここ10年のことだ。
- 急速に発展する中国では日本の成功体験は必ずしも通用しない。過去の成功と経験に捉われず、とにかくやってみることが大切だ。

◎ 参加者の声 (アンケートより)

- 中国市場への取り組みの勘所が実体験に基づいて語られ、非常に有意義なセッションでした。
- 中国ビジネスは“とにかくやってみる”“経営者の胆力が必要”といった話が印象に残りました。
- 中国進出のパイオニア企業としての成功体験、失敗体験を伺うことができ大変参考になりました。人材に対する考え方が共通している点は興味深かった。
- 経験に裏打ちされた貴重なノウハウや意見を拝聴することができた。
- 生き活きとした中国経済の動向を肌で感じられた。

F I F 2010 懇親パーティー



総会のあと、懇親パーティーを開催しました。多くの会員の皆様にご参加いただきました。



## キッズ&ユース企画 社会の最前線

「社会の最前線」は、小中学生を対象にした一日職業体験プログラムです。FIFが初年度から実施している活動で、社会のしくみを知り、働くことの楽しさを体感することで「働くって楽しい!」「プロの技はスゴイ!」「働くことは社会を支えていることなんだ!」と実感してもらうことを目的としています。2010年度は前年度に続いて佐川急便株式会社様、JX日鉱日石エネルギー株式会社様（旧・新日本石油株式会社様）にご協力いただいたほか、アサヒ飲料株式会社様で初めて実施しました。

### コンセプト

#### 働くカッコいい大人に会いにいこう!

##### 社会の“しくみ”の実感

企業や団体で仕事の実体験をすることによって、その成り立ちや役割を知るとともに、いままで気づかなかった社会の“しくみ”を実感する。

##### 社会人としてあるべき姿の模索

トップとの対話やふだん接することの少ない社会人とのふれあいをとおして、社会人としての理想像やリーダー像、将来の夢をより現実的に思い描く。

##### 働くことの楽しさややりがいを体感

学校や家庭とはひと味違う、オフィスや工場での様々な体験をもとに、社会で働くことの楽しさややりがいを体感する。

### プログラムの特色

実施にあたっては、以下を特色としたオリジナルのプログラムを受入企業・団体の皆様とともに企画しています。10～20名の少人数で行う中身の濃い内容で、参加者や保護者の皆様からたいへん好評いただいています。

#### ● 企業・団体のトップと対話、ふれあい

ふだん接する機会が少ない企業・団体のトップの方々のお話をきいたり、直接質問したりすることで、仕事への情熱や経営に対する姿勢を学ぶ。

#### ● 外部には非公開の場所やしくみの見学

関係者以外には公開することのない部署や研究所、システムを見学し、その企業・業界における最先端の技術やしくみにふれる。

#### ● 現場での職業体験

店舗やオフィスで実際に行われている業務を大人といっしょに体験しながら、働いている人の想いやプロの仕事の肌で感じる。

## 物流の最前線（佐川急便株式会社様）

- **コンセプト** 配達・集荷の実習体験などとおして、物流のしくみを知り、理解を深める
- **日時** 2010年3月30日(火) 10:00～16:15
- **会場** 佐川急便株式会社 本社 東京本部（東京都江東区）  
SGリアルティ株式会社（同）
- **参加者** 小学4～6年生の計19名
- **内容** 授業①～「荷物の流れ」ってどうなっているの？  
授業②～「集荷・配達」「送り状のひみつ」について教えてもらおう！  
トラックの見学・説明・実験～いろいろなトラックの役割や装備機器を学ぼう！  
実習①～2人1組での配達・集荷体験（SGリアルティにて）  
実習②～荷物の梱包・発送体験（佐川急便文京店にて）  
オフィス見学  
栗和田会長との名刺交換&質問会
- **後援** 江東区教育委員会、品川区教育委員会、家庭教師のトライ



年々応募者が増え、参加した子どもたちは最後まで元気いっぱい、企画が軌道に乗ってきたようだ。一人前のセールスドライバーとして集配作業を行い、ほんの少し大人の気分を味わったことで、働くとはどういうことかを感じてもらえたと思う。今は働いている親の姿が見えない時代。大人とふれあう機会をもっとつくりたい。

佐川急便株式会社 会長  
栗和田 榮一様



## エネルギーの最前線（JX日鉱日石エネルギー株式会社様）

- **コンセプト**
  - 石油を中心に暮らしや産業を支えるエネルギーについて学ぶ
  - 地球環境との調和と次世代エネルギー開発について学び体験する
- **日時** 2010年8月5日(木) 10:00～16:30
- **会場** JX日鉱日石エネルギー株式会社 中央技術研究所、根岸製油所（神奈川県横浜市）
- **参加者** 中学1～2年生の計13名
- **内容**
  - 会社紹介
  - 若手研究者の方たちからのメッセージ
  - 研究所見学・実験（石油精製プロセス・実車試験の説明、燃料電池の実験、燃料電池車試乗）
  - 若手研究者の方たちとの昼食・質問会
  - 製油所見学
  - タンカー乗船（ブリッジ・コントロールルーム・機関室の見学、船長への質疑応答）
  - グループワーク
  - 木村社長からのお話&質問会
- **後援** 品川区教育委員会、守谷市教育委員会、横浜市教育委員会、NPO法人16歳の仕事塾



現場を見ることで初めて、ひとつの仕事が多くの人のびとに支えられていることを理解できる。子どもたちには見学したときの純粋な気持ち、もっと知りたいという気持ちを継続してもち続けてほしいし、それが個々の成長につながると期待している。今回4回目だが、参加者のその後の人生にどのような影響があったのかを知りたい。

JX日鉱日石エネルギー株式会社 社長  
木村 康 様



## 初実施 ソフトドリンクの最前線 (アサヒ飲料株式会社様)

- **コンセプト**
  - 実験や見学をとおして安心・安全な商品をつくるための工夫や想いを知る
  - 製造から販売までの過程での地球環境を守る取り組みを知る
- **日時** 2010年8月20日(金) 10:00～16:00
- **会場** アサヒ飲料株式会社 商品開発研究所、技術研究所 (茨城県守谷市)
- **参加者** 中学1～3年生の計19名
- **内容**

光田専務よりメッセージ、会社紹介  
 研究所見学・実験 (ペットボトル製造・デザインの見学、官能検査の実験、免震構造の説明)  
 授業～環境への取り組みについて  
 社員の方たちと昼食&質問会  
 実験～三ツ矢サイダーの製造工程を知ろう！  
 実習～三ツ矢サイダーをつくって飲んでみよう！  
 グループワーク  
 菊地社長のお話&質問会
- **後援** 品川区教育委員会、守谷市教育委員会、NPO法人16歳の仕事塾



子どもたちが非常に明るく元気で、こちらパワーをもらった。純真な考え方や取り組み姿勢、そしてキラキラした目を見て、参加した社員も入社した頃のことを思い出したのではないだろうか。我々も夢を忘れてはならないと気持ちを新たに。子どもたちの未来に大きな期待をしている。このような企画をどんどんやってほしい。

アサヒ飲料株式会社 社長  
**菊地 史朗 様**



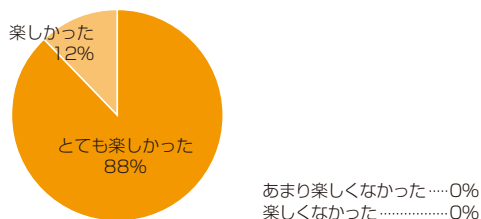
## 社会の最前線 アンケート結果

FIFはプログラム終了後、参加者と保護者を対象にアンケートを実施しています。その結果をもとに、子どもたちにとってより有意義なプログラムになるよう内容の見直しや運営方法の改善を行っています。またいただいたメッセージや感謝の言葉が、私たちスタッフの励みにもなっています。アンケート結果の一部を紹介します。

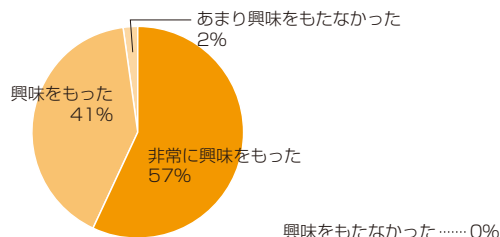
(回答者数51人、回答率100%)

### ★参加者の感想

#### 質問1 参加してみてどうでしたか？



#### 質問3 今回見学した企業・団体や体験した仕事に興味をもちましたか？



#### 質問2 それはなぜですか？

##### 物流の最前線

- いろいろなものがあってドキドキしたりするものがいっぱいあったから。(小4男子)
- きょうな体験でなかなかできないし、FIF、佐川急便の人たちが笑顔だったから。(小5男子)
- はいたつ体験とトラック見学などが楽しかったから！(小5女子)

##### エネルギーの最前線

- 「とてもたのしかった」としかいいようがないほどよかったから。(中1男子)
- 研究員の方がどうして研究員になったかを教えて下さったから。(中1女子)
- 遠くから見るタンカーとは大きさが異なり、やはり規模の大きさに驚きを感じたから。(中2男子)

##### ソフトドリンクの最前線

- サイダー作りがおもしろかったから。(中1男子)
- 社長さんに会って話をきいたりすることは、今後あまりないと思うから。(中1女子)
- 自分の知らないたくさんの事を教えてもらったから。(中2男子)

#### 質問4 それはどうしてですか？

##### 物流の最前線

- あまりけいけんできないことをやったから。(小4女子)
- なかなかできないことがとても楽しいというのがわかった。(小4男子)
- いろいろなくふうをしているから。(小6女子)

##### エネルギーの最前線

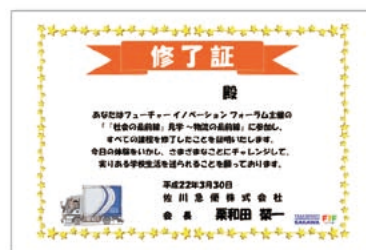
- 地球温暖化を防ぐことができる仕事だから。(中1女子)
- たくさんの人が協力し合って石油が作られている。小さなことでもたくさんの人が協力すれば大きなことになると思ったから。(中1男子)
- 人のためになるというやりがいのある仕事だと思ったから。(中2男子)

##### ソフトドリンクの最前線

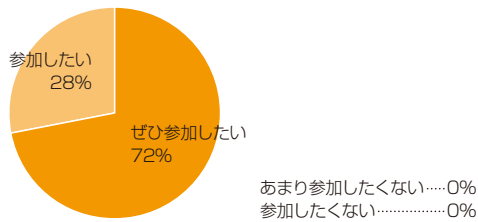
- どんな風に、一つの飲み物ができているか分かっておもしろそう、楽しそうだったから。(中1女子)
- 将来やくに立ちそうなこともいろいろ聞いたから。(中1女子)
- 最初で最後のようなことが沢山できた。(中2男子)



##### 物流の最前線



質問5 今後もこのような職業体験に参加したいですか？



質問6 それはどうしてですか？

物流の最前線

- トラックの中を見たり、はいたつすることが楽しかったから。(小4男子)
- とても勉強になった。また勉強したい！(小4女子)
- 楽しすぎるから。本当に最高でした。(小5男子)
- 楽しかったし友達ができただから。(小6女子)

エネルギーの最前線

- 勉強になったし、たくさんの新しい体験ができた。話も分かりやすくておもしろかった。(中1女子)
- 知らなかったことが分かったし、普段は入れない所も入れたから。(中1女子)
- 若いうちにいい経験をして早く将来の夢を見つけたから。(中2男子)
- 他にも色々な事を学びたい。(中2男子)

ソフトドリンクの最前線

- 今回の体験が楽しく、いろいろなことを知ることができたから。(中1男子)
- もっと他の会社のこういう事を知りたい。(中1女子)
- 友達もできるし、新たな発見があるから。(中1女子)
- 自分が思っていた以上の、いろいろな体験をさせていただいたからです。(中2男子)

★保護者からの声 (アンケートより)

物流の最前線

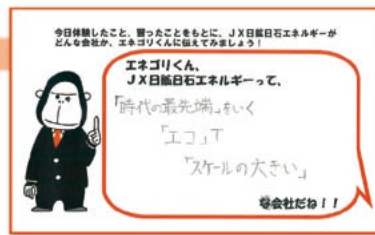
- 娘は会社という組織の中で沢山の人が色々な仕事を分担してうけもっている事におどろいたようです。そして会社というものが、利益をうみ出すだけでなく、社会に役立つ目的があると感じたようです。とても感謝しております。
- 実際に荷物を発送したり、お客様へ届けたり、貴重な体験ができて良かったです。また、会長さんたちと名刺交換できたことが大人になったようでとても嬉しかったようです。

エネルギーの最前線

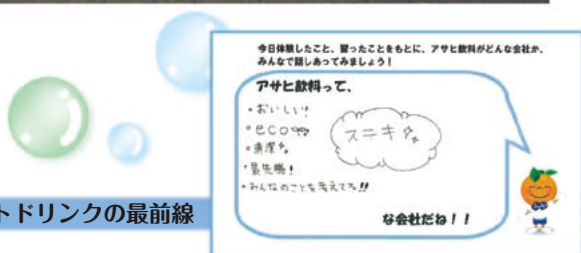
- なかなか接することの難しい先端技術を子供達に体験させて頂き、子供達が未来を担う自覚と喜び、夢をふくらませることができているように感じます。有難うございます。
- 中学生になった息子は中学→高校→大学(院)→社会人と成長していく時、何を学んだら人々に社会に役に立つのかを考え始めています。ENEOSの方々のお話は興味深く視野が広がったようで、大いに刺激を受けたようです。今後も継続して頂けたら嬉しいです。

ソフトドリンクの最前線

- 息子が帰宅後楽しかった様子を話してくれました。ペットボトルが作られる工程を間近で見て、大変感動したようです。貴重な体験をありがとうございました。
- 環境問題への対応に努力されていることが印象に残ったようです。良い体験になりました。
- 企業のトップの方とは話す機会がないので、この様な時に話ができてありがたかった。実験などで体を動かすと身になる事なのでこれからもこういう機会を与えてほしいです。



エネルギーの最前線



ソフトドリンクの最前線

## キッズ&ユース企画 ITらぼ

「ITらぼ」は、ITにフォーカスしたオリジナルプログラムの総称で、FIFが初年度から実施している活動です。グループワークを通じてITのしくみを知り、その可能性を体感することで、イノベーションを生み出す大人への成長を支援することを目的としています。2010年度は小学校でのIT教育の一環として、杉並区立第七小学校にて初めて「出張授業」を実施したほか、各地で開催される子ども向けワークショップへの出展を見据えた親子参加型イベント「フューチャー☆キッズデー」を企画・実施しました。

### コンセプト

#### イノベーションを生み出す大人になろう！

##### “使う側” から “創る側” へ

自分の手でつくりあげる達成感を味わうことで、ITを“使う側”から“創る側”に立つ喜びや楽しさを体感する。

##### ITへの興味の喚起

ITのしくみを知り、技術のおもしろさやデジタルの世界の可能性を感じることで、ITを身近に感じ、理数系の分野への興味を喚起する。

##### ITリテラシーの向上

プログラミングや画像編集などの体験をとおして、想像力や表現力、ITリテラシーを高める。

### プログラム内容

#### 10年度 初実施 小学校へ出張授業

小学5、6年生を対象にしたプログラム。1コマ90分を基本にプログラミング教室やデジタル教室を実施。



#### 10年度 新企画 子ども向け ワークショップへの出展

短時間でたくさん子どもたちがITについて楽しく学べるプログラム。「電卓分解に挑戦」「ITクイズ」など。



#### パソコン組み立て教室

パソコンを組み立てる作業をとおしてしくみや役割を理解するとともに、モノをつくる楽しさを体感。





## 初実施 出張授業「プログラミング教室」

教育現場のニーズに応えるため、授業の一貫としてできる小学5、6年生向けの新プログラムを2009年度から1年かけて企画・検討してきました。そして初の出張授業として、2010年春にロボットカーを使った「プログラミング教室」を杉並区立杉並第七小学校で実施しました。また、同校の校長先生の協力を得ながら、デジタルの基礎を学ぶ授業の検討にあたり、秋には第2弾として「デジタルってなんだろう？」を実施しました。

- **コンセプト** パソコンでプログラムを書き、思い通りにロボットカーを動かす体験をとおりプログラミングへの理解を深める
- **日時** 2010年1月15日(金) 8:55～10:30(6年生)、13:40～15:15(5年生)
- **会場** 杉並区立杉並第七小学校(東京都杉並区)
- **参加者** 6年生36名、5年生34名、計70名
- **内容**
  - 1時限目(45分)
    1. オリエンテーション
    2. ロボットカーのしくみを知ろう!
    3. ロボットカーを動かそう!
    4. 基本動作をマスターしよう!
    5. ロボットカーゲーム～ステージ1～
  - 2時限目(45分)
    6. 応用動作をマスターしよう!
    7. ロボットカーゲーム～ステージ2～
    8. 今日のまとめ



何度もちょうせんしてやっとゴールできたから、とてもうれしかった。(小5女子)



家の中、駅にもたくさんプログラミングが使われているものがあると知りました。(小6男子)

プログラミングをするのが初めてでやり方が分かり、ゴールはできなかったけど楽しかった。(小6女子)



人生で初めてパソコンでロボットカーを動かすということをさせてもらってありがとうございます。この授業はとても楽しかったです。(小5男子)



## 初実施 出張授業「デジタルってなんだろう？」

- **コンセプト** ITの基礎的な考え方である2進数にふれることで、デジタルへの理解を深め、コンピュータのしくみへの興味を喚起する。
- **日時** 2010年9月28日(火) 10:45～12:20(5年生)、13:45～15:20(6年生)
- **会場** 杉並区立杉並第七小学校(東京都杉並区)
- **参加者** 6年生 35名、5年生 44名、計79名
- **内容**
  - 1時限目(45分)
    1. オリエンテーション
    2. かき氷トッピングゲーム
    3. 「0」「1」に置きかえよう!
  - 2時限目(45分)
    4. 「0」「1」カードを使った暗号解読ゲーム「起爆装置を解除せよ!」
    5. 今日のまとめ



10年、20年後はコンピュータがさらに世の中に浸透しているだろう。そのときにただ使う人ではなく、創る人、開発する人になってほしいと願い、出張授業を実施することにした。子どもたちにとって大変良い機会になっただけでなく、講師やファシリテーターのみなさんが頑張っている姿を見ることもよい教育となる。今後いろいろな学校で実施し、この活動を続けてほしい。

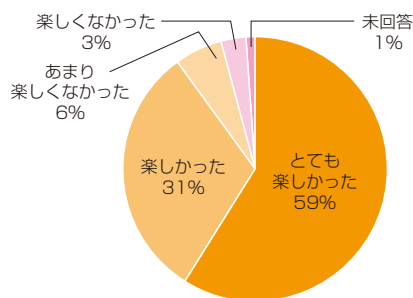
杉並区立杉並第七小学校 校長  
高槻 義一様



## ITらば「出張授業」 アンケート結果

出張授業は初めての試みであり、今後改善すべき点もいろいろありますが、当日の様子やアンケート結果から、子どもたちのコンピュータやデジタルに対する興味が深まっただけでなく、仲間と協力してやり遂げる楽しさや達成感を感じてもらえたようです。アンケートの一部を紹介します。  
(回答者数 146人、回答率 98%)

### 質問1 参加してみてどうでしたか？



### 質問2 それはどうしてですか？

#### プログラミング教室

- ロボットを動かすのが楽しかったから。(小5男子)
- おしえてくれる人がわかりやすくせつめいしてくれたのと、せいこうしたから。(小5女子)
- じゅぎょうの中で1番おもしろかった。(小6男子)
- 課題をクリアしたとき、とてもうれしかったから。(小6女子)

#### デジタルってなんだろう？

- 暗ごうかいどくがおもしろかったから。(小5男子)
- 初めて学んだ事を使ってやったゲームが勉強のようでゲームみたいで楽しかった。(小5女子)
- 勉強するだけではなくかき氷などのおもしろいゲームもたくさんやってくれたから。(小6男子)
- 起爆装置を解除するのが楽しかった。(小6女子)
- タイムが遅かったから、あまり楽しなかった。(小6男子)

### 質問3 今回の授業でおもしろかったこと、ためになったことはなんですか？

#### プログラミング教室

- ロボットのいろいろなきみがわかったこと。(小5男子)
- なかなかゴールできなくてがんばった。(小5女子)
- どうやったらゴールまでたどりつくかを考えられたことです。(小6男子)
- チームの中の友達や先生と協力してゴールできた。(小6女子)

#### デジタルってなんだろう？

- 0と1だけで数を表せてすごいと思った。(小5男子)
- みんなと協力して暗号解読できたこと。(小5女子)
- チームワークよく、はやく解除できた。(小6男子)
- 制限時間があってドキドキしたこと。(小6女子)

### 質問4 何か新しい発見はありましたか？

#### プログラミング教室

- (ゴールするには) コースを考えるのがたいせつだということ。(小5男子)
- プログラミングが楽しいこと。(小5女子)
- 機械も人と同じで会話すること。(小6男子)
- ロボットと人をつなぐパソコンはすごいと思いました。(小6女子)

#### デジタルってなんだろう？

- デジタルとついたことばが多かった。(小5男子)
- 「0」「1」しかなくてもメッセージを伝えることができること。(小5女子)
- 0、1で写真ができていなんて初めてだった。(小6男子)
- デジタルはいろいろなところにつかわれているという発見をしました。(小6女子)



## 新企画 フューチャー☆キッズデー

FIFは多くの団体が参加する子ども向けワークショップへの出展を目指して、2009年度から短時間でたくさん子どもたちを楽しんでもらえる複数のプログラムを企画・検討してきました。2010年の夏休みにはトライアルとして、親子参加型のイベント「フューチャー☆キッズデー」を実施しました。

- 日 時 2010年7月29日(木) 13:30～15:00
- 会 場 フューチャーアーキテクト株式会社 本社 (東京都品川区)
- 参加者 幼稚園～中学1年生 18名、保護者・見学者 12名、計30名
- 内 容  
オリエンテーション  
フューチャークイズ  
ワークショップ「ITであそぼう！」
  - ゼロワンクイズ (対象：幼稚園～小学2年生)
  - 電卓を分解してみよう (対象：小学3、4年生)
  - ダイアル錠を解除せよ！ (対象：小学5年生～中学1年生)オフィスを見学しよう  
クロージング

### ● 参加者の声

- 全部楽しかったです。(幼稚園男児)
- クイズができたからとても楽しかった。パパのオフィスに入れてうれしかった。(幼稚園女児)
- はじめてばそこんのなかをみるのがたのしかった。会社がきれいだった。またきたい。(小1男子)
- 分かりやすく説明してくれた。どのような仕事をしているのかもっと知りたい。(小4男子)
- いろいろなゲームをやったからとても楽しかった。(暗号を解いてスタッフの) お兄さんを助けるのがほん当にたのしかった。(小5男子)
- コンパクトな時間ながら内容も盛りだくさんでよかったですと思います。ありがとうございました。(保護者)
- 若手スタッフがいろいろとアイデアを出して企画したことが感じられました。(保護者)
- 父親の会社を子どもに見せたかった。子どもたちが楽しんでいてよかったです。(保護者)



## プレスクリッピング

2010年1月に杉並区立杉並第七小学校で実施した出張授業「プログラミング教室」の様子が、東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課が発行する定期刊行誌「みんなの生涯学習 Enjoy learning」(No.99)に紹介されました。

# ITらぼ 出張授業「プログラミング教室」

## フューチャー イノベーション フォーラム「プログラミング教室」

フューチャー イノベーション フォーラム(以下「FIF」)では社会貢献活動として、「パソコン組み立て教室」や「分解してみよう!~電卓のしくみ」など、「ITらぼ」というITに特化した青少年向けプログラムを展開しています。

今回は、杉並区立杉並第七小学校(高槻義一校長)で行われた「プログラミング教室」の様子を紹介します。

### <実施日及び学校等>

- 平成22年1月15日(金)
- 杉並区立杉並第七小学校  
6年生 1クラス(36名)  
5年生 1クラス(34名)

### <プログラム情報>

- 教科 総合的な学習の時間(情報)
- スタッフ体制 講師1名、生徒2~3人に1人のファシリテーター(計13名)
- 2時間授業の構成
 

1時限目	オリエンテーション、基本動作、ロボットカーを使ったゲーム(ステージ1)
2時限目	応用動作、ロボットカーを使ったゲーム(ステージ2)、まとめ

### <プログラム内容>

#### 1時限目

始めに講師のFIFスタッフ 磯貝さんが「〇〇君、立って私の質問に答えてくれますか?」と呼びかけました。「いま立ち上がったよね、なぜ、立ったのかな?お願いしたからだよね。このように人は言語によるコミュニケーションが可能です。ではここにあるロボットカーに言葉でお願いしたら、動かな?動かないよね。」

人がコンピューターにお願いして動いてもらうためには、専用の言語が必要だということを学び、「プログラミング教室」は始まりました。



チームごとにパソコンの専用ソフトで(前進)(後退)(右折)(左折)などの動きを選択、数値を入力することでプログラムを作成しました。それを専用のケーブルを経由してロボットカーに送ると指示通りに動きます。これを繰り返し、ロボットカーの動作結果を確認したあと、基本動作を使った簡単なゲームに挑戦しました。



#### 2時限目

応用動作を学び、コースと課題が発表されます。「課題をクリアして、最終ゴールの駐車スペースにロボットカーを止めてください。」会場に用意されたコースを使って、「プログラムを組む」→「実行」→「プログラムを修正」→「実行」を繰り返しました。なかなか思い通りに走らず悪戦苦闘していましたが、試行錯誤の末ゴールし、教室には歓声があふれました。

FIF事務局の高橋さんは、「これまではパソコン組み立てとプログラミングを合わせて一日をかけて実施していましたが、今回は授業で取り入れていただきやすいようなプログラミングに絞りました。これからも学校の要望に応えて企画・実施していきたいと思います。」とおっしゃっています。



#### 【連絡先】フューチャー イノベーション フォーラム

電話 03-5740-5817(祝休日を除く平日午前10時から午後5時まで)  
URL <http://fif.jp/> <http://fif.jp/kids/>

みんなの生涯学習 No.99  
2010.3.15

# イベントポスター集

## ● 社会の最前線

---

● 物流の最前線

---

● エネルギーの最前線

---

● ソフトドリンクの最前線

---

## ● ITらぼ

---

● フューチャー☆キッズデー

---



## 社会の最前線 「物流の最前線」

TRANSPORT!  
COMMUNICATION  
SAGAWA

企業見学プログラム「社会の最前線」見学



## 物流の最前線

参加者募集!  
参加無料・昼食つき3月30日(火) 10:00~16:00  
対象:現小学4~6年生 (定員18名)

※定員を超えた場合は締切後に抽選を行います。ご了承ください。

▶ 詳しい情報はURLをご参照ください。 URL: <http://fif.jp/kids>

荷物を届けました!



みんなで記念写真!

昨年参加者より:「荷物といっしょに夢と希望をはこんでください!」小6年男子、「新しい発見ができて、おもしろかった!」小6年女子、「トラックにのっていろいろな機能を見たのがとても心に残っておもしろかった!」小5男子、「今回の体験はとても楽しかったです!」小5年女子、「やりがいがある、それがうれしかった!」小6年女子

- 開催場所:佐川急便株式会社 (東京都江東区新砂2-1-1)
- 参加費 :無料 (昼食つき) ※集合場所(東京メトロ東西線南砂町駅)までの交通費はご負担ください。
- お申込み、お問合せ:フューチャー イノベーション フォーラム事務局  
FIFキッズサイトの応募ページ、または専用申込用紙にてお申込みください。  
URL : <http://fif.jp/kids> TEL : 03-5740-5817 (祝休日を除く平日10時~17時)
- 申込締切:3月10日(水) 必着
- 主催 :フューチャー イノベーション フォーラム
- 協力 :佐川急便株式会社、フューチャーアーキテクト株式会社
- 後援 :江東区教育委員会、品川区教育委員会、家庭教師のトライ



エネルギーも、ステキに  
**ENEOS**

# エネルギーの最前線

新日本石油ってどんな会社かな??  
エネルギーの最前線を体験しよう!  
根岸製油所・石油タンカーを見学しよう!  
石油業界のトップに質問しよう!

**8月5日(木)**  
10:00~16:30  
対象:中学生(定員20名)

※定員を超えた場合は抽選を行います。ご了承ください。

**参加者募集!**  
参加費無料  
昼食付き

**■開催場所:**新日本石油(株) 中央技術研究所、新日本石油精製(株) 根岸製油所  
**■お申込み・お問合せ:**フューチャー イノベーション フォーラム事務局  
 FIFのホームページまたは専用申込用紙にてお申込みください。  
**URL :** <http://fif.jp/kids/> **TEL :** 03-5740-5817 (祝祭日を除く平日10時~17時)  
**■申込締切:**7月4日(日) FIF事務局必着  
**■主催:**フューチャー イノベーション フォーラム  
**■協力:**新日本石油(株)、新日本石油精製(株)、フューチャーアーキテクト(株)  
**■後援:**品川区教育委員会、守谷市教育委員会、横浜市教育委員会、NPO法人16歳の仕事塾  
※天候などにより、タンカーに乗船できない場合があります。またタンカーは高い所に登ることになりますので、あらかじめご了承ください。  
 ※新日本石油(株)と新日本石油精製(株)は経営統合に伴い7月1日よりJX日鉱日石エネルギー(株)となります。

FIF kids



社会の最前線 「ソフトドリンクの最前線」

Asahi  
SOFT DRINKS

フューチャーイノベーションフォーラム主催 「社会の最前線」見学

FIF  
kids

# ソフトドリンクの最前線

8月20日(金) 10:00~15:30

対象：中学生（定員20名）

参加者  
募集!  
参加費無料  
昼食付き

三ツ矢サイダー、十六茶、ワンダ…。アサヒ飲料は私たちの生活に欠かせないソフトドリンクをつくっています。そうした商品はどのような道をたどって世の中に出てくるのでしょうか？常に新たなチャレンジを続ける、ソフトドリンクのバイオニアアサヒ飲料で、ソフトドリンクの最前線を体験してみましょう！



## プログラム内容

- ①飲み物ができるまでの流れを学ぼう！
- ②三ツ矢サイダーの製造工程を知ろう！
- ③三ツ矢サイダーをつくってみよう！
- ④企業のトップに質問しよう！



開催場所	アサヒ飲料株式会社 商品開発研究所、技術研究所（茨城県守谷市） ※秋葉原駅よりつくばエクスプレスで30分、守谷駅より送迎バスで15分
参加費	無料、昼食つき ※現地までの交通費はご負担ください。
応募方法	FIFキッズサイトの応募ページ、郵送、FAX、メールにてお申し込みください。 ・FIFキッズサイト : <a href="http://fif.jp/kids/">http://fif.jp/kids/</a> の応募ページよりお申し込みください。 ・郵送、FAX : 別紙の専用申込用紙をご利用ください。 ・メール : 件名を「ソフトドリンクの最前線参加希望」、本文で「氏名(フリガナ)」「電話番号」をご連絡ください。FIF事務局よりご連絡いたします。
お申込み お問合せ	フューチャー イノベーション フォーラム事務局 〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー15階 (フューチャーアーキテクト株式会社内) TEL:03-5740-5817 (祝休日を除く平日10:00~17:00) FAX:03-5740-5843 e-mail:forum@future.co.jp URL: <a href="http://fif.jp/kids/">http://fif.jp/kids/</a>
申込締切	7月11日(日) FIF事務局必着

申込は  
7月11日(日)必着  
待ってるよ!



主催：フューチャー イノベーション フォーラム  
協力：アサヒ飲料株式会社、フューチャーアーキテクト株式会社  
後援：品川区教育委員会、守谷市教育委員会、NPO法人16歳の仕事塾

参加者  
募集!  
無料

# フューチャー キッズデー

お父さん、お母さんがはたらいている会社って、どんなところかな?  
「IT」のおしごとってどんなしごと? ITであそんでみよう!



日時: **7月29日(木)**  
**13:30~15:00**

対象: 小学生~中学生の親子15組(計30名)

※中学生はお子様だけの参加も可能です。

場所: **フューチャーアーキテクト株式会社本社**

(東京都品川区大崎1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー15階)



■ プログラム内容:

- ① 「フューチャークイズ」でお父さん、お母さんの会社のことを知ろう!
- ② ITであそぼう!(どんなことをするのかは当日のお楽しみ☆)
- ③ お父さん、お母さんのオフィスを見学しよう!

■ 応募方法: メールにて、FIF事務局に申し込み

6/14(月)配信の「参加者募集」メールにある返信フォームでお申し込みください。

■ お問い合わせ: フューチャーイノベーションフォーラム (URL: <http://fif.jp/kids/>)

TEL: 03-5740-5817 (祝祭日を除く平日10時~17時)



ほくの中が  
見られるかも

応募締切

**7/2(金)**



**お問い合わせ先**

**フューチャー イノベーション フォーラム事務局**

**A D D** ● 〒141-0032  
東京都品川区大崎1-2-2  
アートヴィレッジ大崎セントラルタワー15階  
(フューチャーアーキテクト株式会社内)

**T E L** ● 03-5740-5817

**E-mail** ● [forum@future.co.jp](mailto:forum@future.co.jp)

**U R L** ● <http://fif.jp/> (会員向け)  
<http://fif.jp/kids/> (キッズ&ユース向け)

**発 行** ● 2011年4月

